

留学先国名 : イギリス

留学先学校名 : Southampton Solent University

留学期間 : 平成 26 年 9 月 1 日 ~ 平成 29 年 6 月 1 日

2 年の留学を経て今までで初めて感じた不安はなんといっても卒業後の進路です。

正直、留学前はとりあえず海外で勉強がしたい、という思いでいっぱいいっぱいその先のことはそこまで考えておらず、まあ、なんとかなるだろう。という軽い気持ちでいましたが、卒業が近づき、将来というものに現実味が増してきました。

留学経験のおかげで私には普通よりも幅広いオプションが出来たのは事実です。が、その幅広い選択肢のなかで正しい選択ができるのだろうかというのが問題です。イギリスで仕事に就くのか、日本で就くのか、そもそも、仕事に就いた方がいいのだろうか、会社勤めがいいのか、フリーランスの仕事も良さそうだ…。こういった幅広い選択肢を提示され、海外で生活する上で日本で常識とされることが異国では常識ではない事に気づき、多様な考えを持つ人々に出会い、こんな考え方もあるのか、と出来るだけこの広い考えを吸収しようと私は努力して来ました。ひとつひとつの考え方の善し悪しはともかく、自由である、自ら選択が出来る、という点では日本はまだ劣っていると実感しました。しかし、その自由とともに、もちろん責任というものも連ってきます。すべての選択にはそのレスポンスがあり、それがどのように転ぶのかは完全に自分次第なのです。また、私が勉強しているのが美大だからか、やはり人と違う事がしたい、ルールに敷かれた道は行きたくない、といった考えの生徒がとても多く、教員もその考えをサポートしているので日本での当たり前が私にはもう当たり前ではなくなっていました。もちろんこれはいい事なのですが、休暇に日本に帰るとやはり焦りを感じます。いわゆる、逆カルチャーショックというものが起きて、自分が生まれ育った国での暗黙のルールに適應していない自分の行き場の無さを実感させられます。

とてもネガティブに聞こえがちですが、この不安を感じる事が出来るのも貴重な経験のおかげだと、私は思っています。このような迷いが出来る事自体に感謝して、自分がしたいことにつながるように出来るだけ正しい選択をして行きたいと思います。